

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

部活・サークル中心の大学生

2007年 2月

情報学部 広報学科 3年

榎本 涼

目次

第1章 研究の概要	・・・ 3
1. 1 研究の背景と目的	・・・ 3
1. 2 研究の方法	・・・ 3
(1) 進捗経緯	
(2) 研究の概要	
1. 3 成果の概要	・・・ 5
第2章 研究の成果	
2. 1 回答者概要	・・・ 6
2. 2 部活・サークル加入者状況	・・・ 6
a.部活・サークルへの加入率	
b.どのような部活・サークルに加入しているか	
c.部活・サークルに対する意識	
2. 3 部活・サークルと勉強	・・・ 9
a.部活・サークルと勉強の両立	
b.全体の単位取得率	
2. 4 大学生生活満足度	・・・ 11
a.全体の大学生生活満足度	
b.部活・サークル加入者の大学生生活満足度	
c.部活・サークル非加入者の大学生生活満足度	
2. 5 アルバイトと交友関係	・・・ 13
a. 全体のアルバイト状況	
b. 非加入者のアルバイト先の知人との関係	
2. 6 その他	・・・ 15
a.睡眠と大学生	
b.お酒と大学生	
第3章 まとめと今後の課題	・・・ 17
参考文献	
単純集計結	

第1章 研究の概要

1. 1 研究の背景と目的

大学4年間で何を学ぶのか？この問に対して悩んでしまう学生は多いだろう。「大学生の常識」の著者である鈴木雄雅教授は大学とは「何を学ぶかを学ぶ場所」と述べている。

2003年秋に実施された「12大学の学生調査」の結果から、現代の大学生の素顔は以下のようになっている。

現代の大学生には、勉強志向やまじめ化の傾向が見られる。大学の授業への出席率は高まり、授業満足度も高くなっている。

部活・サークル活動する大学生の割合は多い。部活・サークル活動は、大学生活への満足度を高める効果がある。

大学時代に恋愛デビューを果たす学生は必ずしも多くはないが、恋愛すると学生生活、自己意識にプラスの作用が認められる。

大学生活に占めるアルバイトの比重は大きく、大学生には大きなインパクトを与えている。

女子学生は男子よりも授業、学生生活に活動的である。

私はこの中で、部活・サークル活動する学生を中心に調査を進めていく。

大学生の中には部活・サークルに入って、部活・サークル中心の生活を送っている人がたくさんいる。部活・サークルに入っていると周りの人に流されてしまい、大学生本来の目的を忘れてしまうこともある。部活・サークルに入ることにより勉強する機会が減ってしまった人も中にはいるのではないだろうか。しかし、しっかりと両立をすれば思い出もたくさんできて、人との係わり合いにおいて学ぶべき所はたくさんあるはずだ。部活・サークルを通じて多くの人と出会い、活動内容や組織内での役割を通じて自己を見つめ直したり、社会性を身につけたりする。部活・サークル活動は学生に楽しみを与えるだけでなく、社会の一員としての自覚を促す効果を持っている。

果たして、部活・サークルに入ることにより、その人にとってプラスとなるのかマイナスとなるのか。部活・サークルに入ることによって大学生活に対する満足度は変わってくるのかを比較して、部活・サークルに入って学べるものとは何かを調査していく。

1. 2 研究の方法

(1) 進捗経緯

- ・ 6 月：テーマ企画。
- ・ 7 月：テーマ討論会。
- ・ 9 月：ゼミ合宿討論会において具体的な設問完成。その後改良して最終調査票完成。
- ・ 10 月：調査票の配布、回収。単純集計を行った。
- ・ 11 月：単純集計結果をゼミ内で発表。
- ・ 12 月：研究結果提出。

（ 2 ） 研究の概要

a. 調査の意図

部活・サークルに入っているかどうかの設問

これによってどのくらいの学生が部活・サークルに参加しているかを知る。

部活・サークルに入っている人への設問

どんな部活・サークルに入っているか、週に何回ぐらい参加しているか、どんな目的で参加しているかを知ることによって活動に対する意欲を知る。

部活・サークルに入っていない人への設問

なぜ入らなかったのか。普段どのようなことをしているかを知る。

全員に対する設問

年齢、性別といったフェイスシートを知る。また部活・サークルに入っている人と入っていない人との比較をする。

- ・ サークルに入っている人と入っていない人では学生生活の満足度は違うのか。
- ・ サークルに入っている人と入っていない人では勉強への取り組み方は違ってくるのか。
- ・ サークルに入っている人と入っていない人ではアルバイトへの取り組み方が違ってくるか。
- ・ サークルに入っている人と入っていない人では交友関係に違いはでてくるか。
- ・ サークルに入っている人と入っていない人ではお金の使い道は違うか。

b. 調査対象者

文教大学湘南校舎の学生（ 3 ・ 4 年生 ）

部活・サークル活動を長くやってきた学生を対象としたかった。

c. 調査方法

調査票調査で、ふたつの授業クラスに手渡しで依頼することで調査を行った。

d. 回答数

依頼数は 131 票で回収数は 131 票であった。（社会学特殊講義 B で 95 票、メディア産業論で 36 票。）

この調査の特徴的な点は、部活・サークルに入っているか、いないかによって回答者をグループ分けして、学生生活の過ごし方にどのような変化が見られるか、学生生活の満足度はどうかを調べている。

1.3 成果の概要

大学に入学した時、みんなはよりよい学生生活を送りたいと思って新生活をスタートさせるだろう。よりよい大学生活を送る上で、友人関係は大切である。地方から上京してきた人にとっては本当に1からのスタートだ。入学して部活・サークルへ入ることによって、友人関係も豊かになり楽しい4年間になった人はたくさんいるだろう。

また、部活・サークルに加入しなかった人は授業のクラス、アルバイト先の人と仲良くなる傾向がある。

大学生は私生活の中で勉強はあまりしていない。しかし単位は取れている学生が多く、4年間で何を学んでいるのかわからない大学生が多いのではないだろうか。

部活・サークルに入っていない学生は、入っている学生が部活・サークル活動にあてている時間をアルバイトや趣味の時間としているため、部活・サークルに入っているから、忙しくて単位を落とすことが多いわけではなく、個人差はあるが大学生全体が勉強への意識が低下している。今回の調査からもそのことが明らかになった。

アルバイトは大学生に大きな影響を与えている。部活・サークルに入っている人は、部活・サークル活動にお金がかかるため、活動日以外は働くことが多い。部活・サークルに加入していない人は、趣味や私生活のお金を稼ぐためにアルバイトをしていて、その中で、アルバイト先の知人と仲良くなることが多い。この調査結果から、部活・サークルに入っているからといってアルバイトする時間が減るわけでもなく、入っていないから毎日アルバイトに励んでいるわけでもないことがわかった。

部活・サークルに入っている人の方が交友関係は広く、たくさんの人と知り合う機会が多いようだ。部活・サークルに入っていない人は、交友関係を広げたくなったと思いつから入りたいと思うことが多いという結果になっている。部活・サークルに入っている人は交友関係に満足している人が多いようだ。交友関係を広げ、大学生活満足度を与えてくれる部活・サークルは大学生にとって、とても重要なものとなっている。

[謝辞]

本研究においては、調査の実施に際して多くの学生諸氏から回答を頂いた。この調査協力に対しては心から御礼を申し上げる次第である。調査票を作成するまでの過程では、ゼミのメンバーをはじめとして、多くの方から示唆を頂いた。また研究の実施全般にたいしては、指導教授のハッ橋先生から様々な示唆を頂いた。これらの皆さんに対して、改めて謝意を表します。

第2章 研究の成果

2.1 回答者概要

どのように調査対象者を選んだかを説明した後で、次のように続ける。

なお回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。表2-1-1の学年別の分布では3年生中心となっている。また表2-1-2の性別の分布では男子が約70%となっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されと考えられる。

表2-1-1 回答者と母集団の比較：学年別分布

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
回答者	0	0	80.2 (105)	16.8 (22)	3.1 (4)	100.0 (131)
湘南キャンパス学生	24.8 (498)	23.8 (471)	25.3 (507)	26.4 (531)	(-)	100.0 (2007)

表2-1-2 回答者と母集団の比較：性別分布

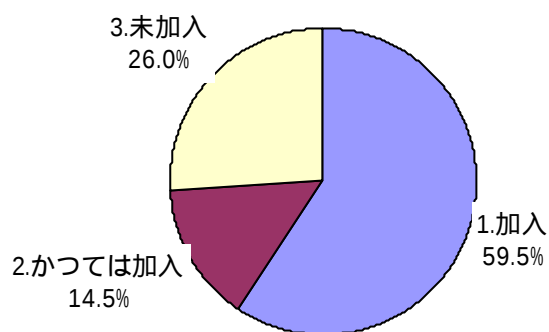
	男子	女子	無回答	計
回答者	70.2 (92)	26.7 (35)	3.1 (4)	100.0 (131)
湘南キャンパス学生	52.0 (1770)	48.0 (1635)	(-)	100.0 (3405)

2.2 部活・サークル加入者状況

a.部活・サークルへの加入率

「入学して以来、部活・サークルに加入していますか。」の質問に対して、下の図2-2-1でわかるように、約60%の人が加入していると答えている。かつては加入していた人が約15%、加入していない人では26%となっている。半数以上の人何かしらの部活・サークルに加入していることがわかった。

図2-2-1 部活・サークル加入の有無
n= 131



b.所属している部活・サークルの種類

図2-2-2 所属している部活・サークルの種類 n=77

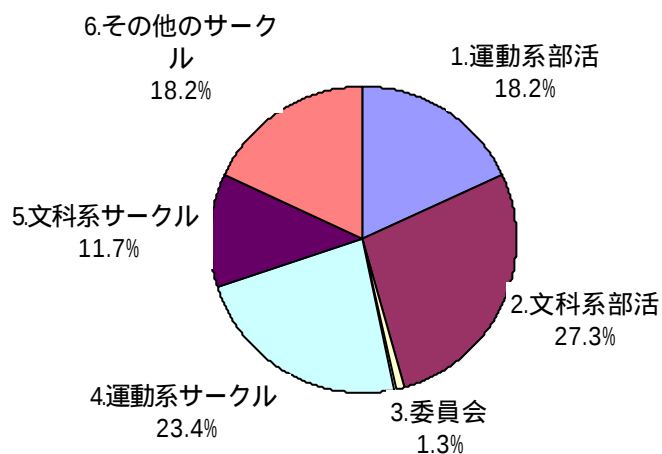


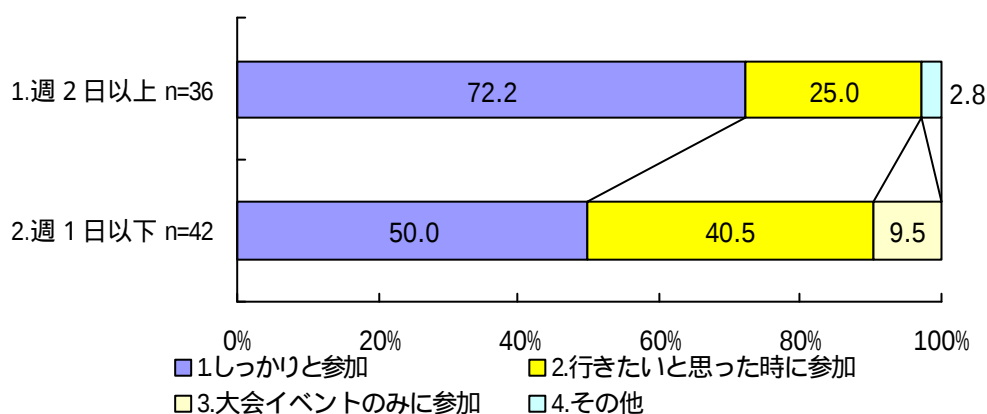
図2-2-2を参考に部活・サークルを所属別に見てみると、運動系の部活が約18%、文科系部活が約27%、委員会が約1%、運動系サークルが約23%、文科系サークルが約12%、その他のサークルが約18%、となっている。委員会を部活と考え、部活とサークルの割合を見てみると部活が約46%、サークルが約53%となっており、ほとんど半分に分かれる結果となった。

部活・サークルにいくつ加入しているかについては、1つのサークルに加入している人が約53%で1番多い結果となっている。次いで1つの部活に加入している人が約37%、部活とサークルに所属しているが約5%、2つ以上の部活に所属している人が約3%、2つ以上のサークルに所属している人が約3%となっている。1つの部活・サークルに加入している人が多く、掛け持ちをしている人は少ないようだ。

c.部活・サークルの集中度合

「部活・サークルでどの程度に活動しているのか」を単純集計結果から調べたところ、約60%の人が「活動にはしっかり参加し、部活・サークル活動が楽しくなるようにがんばっている」と答えている。「自分が行きたいと思った時にだけ行く人」が約33%、「大会・イベントの時に参加する人」が約5%、「その他」が約1%となっている。

図2-2-3 活動日の違いと活動への集中度合
(χ^2 検定: $p=0.056$)



そこで週2日以上部活・サークルで活動しているグループと週1日以下の部活・サークルで活動しているグループにわけ、部活・サークルの集中度合をグループごとに集計した結果が上の図2-2-3である。活動日の多い部活・サークルの方がしっかりと参加し、活動がよりよいものとなるようにがんばっていることがわかる。その反面、週1日以下の部活・サークルではしっかりと活動に参加する人と、行きたい時に参加する人が半数ずつにわかれている。

週2日以上活動日がある部活・サークルに入っている人は欠点の中で時間の余裕が無くなったと答えた人が約44%いた。やはり活動日があると忙しい大学生活を送ることになるようだ。

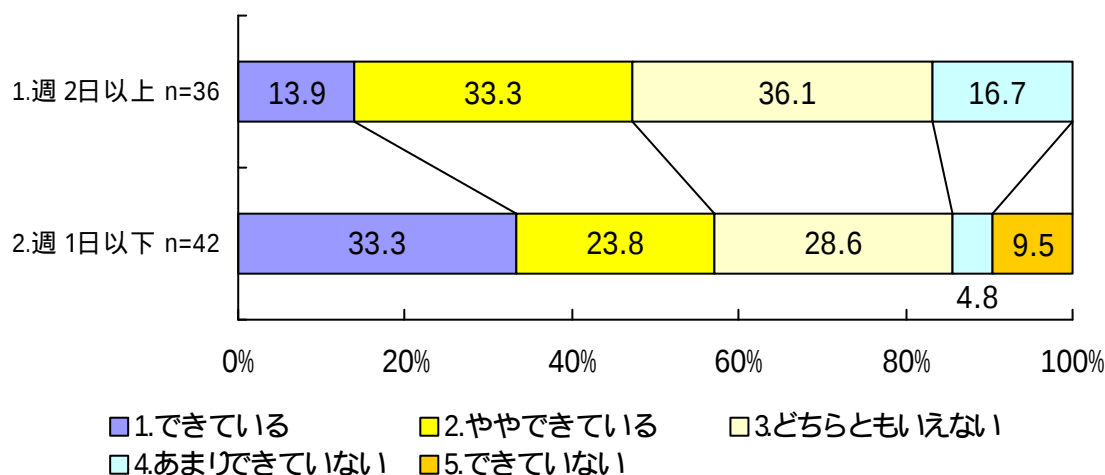
部活とサークル別に集中度合を集計してみると、部活に加入していてしっかりと参加していると答えた人が約64%、サークルでしっかりと参加していると答えた人は約59%となりあまり大きな差は見られなかった。一見、部活よりも活動がゆるそうに見えるサークルでも、約6割の人は一生懸命に取り組んでいることがわかった。

2. 3 部活・サークルと勉強

a.部活・サークルと勉強の両立

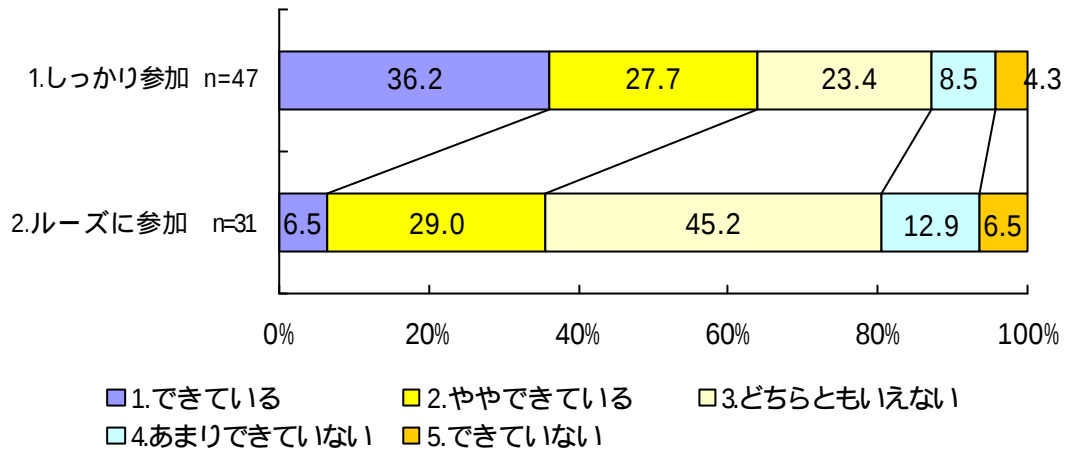
下の図2-3-1は週2日以上部活・サークルで活動しているグループと週1日以下の部活・サークルで活動しているグループと「部活・サークルと勉強と両立はできているか」の質問をグループごとに結果である。この図から活動日が多い部活・サークルに入っている人より活動日が少ない部活・サークルに入っている人の方が、勉強との両立ができていると回答した人が多い。活動日が多い部活・サークルに入っている人は生活の中心が部活・サークルとなっており、活動日の少ない部活・サークルに入っている人はアルバイト・遊び・恋愛など様々なことが中心となっている。

図2-3-1 活動日の違いと勉強との両立意識
(χ^2 検定: $p=0.039$)



「あなたは部活・サークルをどのように考えていますか」の回答結果で「1.活動にはしっかり参加し、部活・サークルが楽しくなるようにがんばっている」を「しっかり参加」グループとし、「2.面倒くさいと思ったりした時は参加せず、自分が行きたいと思った時に参加している」、「3.大会・イベントなどの時は参加するが、それ以外ではあまり参加していない」、「4.その他」を「ルーズに参加」グループに分け集計を行った。図2-3-2では週1日以下の学生の方が勉強と部活・サークルの両立意識は高かったが、しっかり参加している人とルーズに参加している人とでは違う集計結果となった。ルーズに参加している人の方が時間的に余裕があるので、勉強する時間が多いはずだと思ったが、しっかり参加している人の方が両立できていると答えた人が多かった。このことから、何か1つのことに対してまじめに取り組む学生は勉強面においてもまじめに取り組むといえる。

図2-3-2 勉強との両立はできているか
(χ^2 乗 : $p=0.039$)



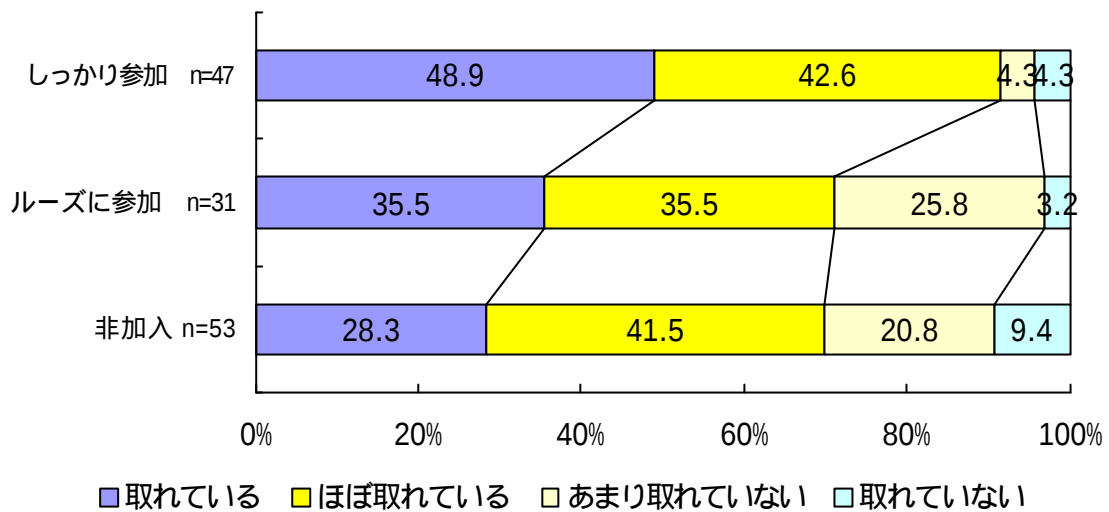
b.全体の単位取得率

部活・サークルに加入している人としていない人では勉強する量は変わってくるのかを調べた。「かなりしている人」は加入者で約3%、非加入者で約6%しかいなかった。「予習・復習程度はしている人」は加入者で約3%、非加入者で約8%であった。「課題のみしている人」は加入者で約45%、未加入者で約40%である。「普段勉強をしていない人」は加入者で約49%、非加入者で約45%となっている。このことから、部活・サークルに加入しているか、していないかによって勉強する量が変わってくるとは言えない。

図2-3-3では「しっかり参加」、「ルーズに参加」、「非加入」の3つのグループ別に単位取得状況を示しているが、単位取得率では「しっかり参加」>「ルーズに参加」>「非加入」の順番となった。このことから、何か1つのことに対してまじめに取り組む学生は勉強面においてもまじめに取り組むといえるだろう。

全体の学生を通して勉強をしている人は少ないが単位は取れている学生が多いことがわかった。

図2-3-3 単位取得率 (χ^2 乗 : $p=0.076$)



2.4 大学生生活満足度

a. 全体の大学生生活満足度

図2-4-1 部活・サークル加入者と非加入者の学生生活満足度 (χ^2 乗 : $p=0.091$)

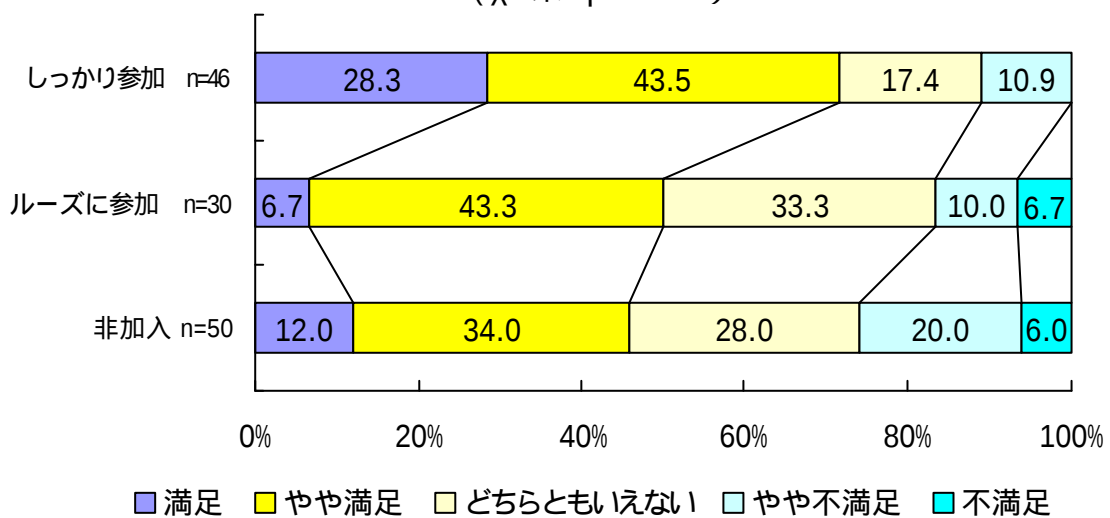


図2-4-1は「しっかり参加」、「ルールズに参加」、「非加入」グループごとに学生生活満足度を集計した結果である。図2-4-1でわかるように部活・サークルに加入している人の方が満足度は高いことが分かる。満足では「しっかり参加」と「ルールズに参加」にも差が見られる。「思い描いた学生生活を送れているか」との問いにも、「しっかり参加」でそう思うと答えた人は約17%、「ルールズに参加」は約10%いたのだが非加入者は0%であった。「大学での思い出は一生の財産か」の質問でも、「しっかり参加」でそう思うと答えた

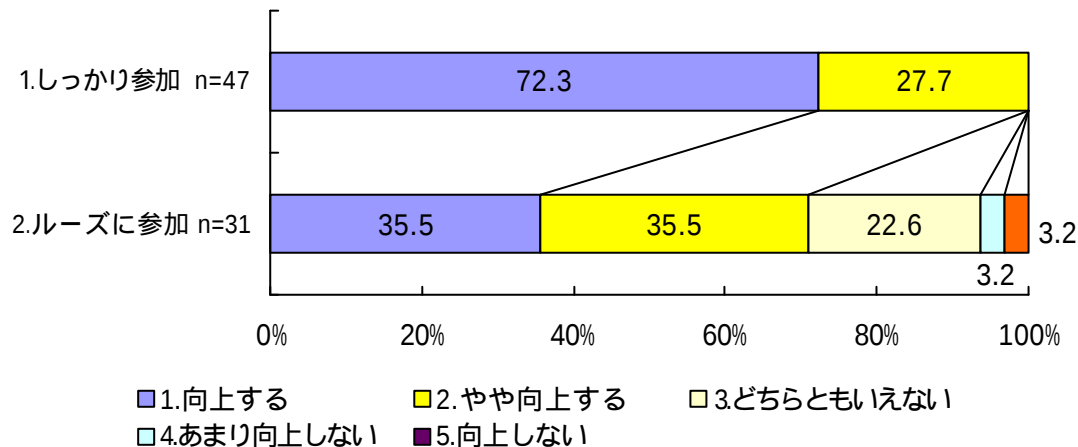
人は約 55%、「ルーズに参加」は約 29%、非加入者では約 21%であった。ここでは「しっかり参加」している人は大学生活に思い入れが強いことがわかる。「大学生活の中で交友関係を広げられたか」の質問においても、「しっかり参加」で広げられたと思っている人が約 51%、「ルーズに参加」は約 32.3%であるのに対し、非加入者は約 15%であった。この結果から、部活・サークルに加入することで、学生生活に大きな影響を与えていることがわかる。

b.部活・サークル加入者の大学生活満足度

また、部活・サークルに入ったことで大学生活がよりよいものになるかの質問に対して、も大きな差が出ている。図 2 - 4 - 2 はそのことを表している。

しっかり参加している人はそう思う、ややそう思うと答えた人しかなく部活・サークルへの満足度がとても高いことがわかる。しっかり参加している人とルーズに参加している人ではグラフからも分かるように違いはあるものの、ルーズに参加している人も部活・サークルに加入したことにより大学生活がよりよいものとなったと思った人がほとんどである。

図2-4-2 部活・サークルへの加入と大学生活の向上効果
(χ^2 検定 : $p=0.001$)



c.部活・サークル非加入者の大学生生活満足度

では非加入者はこういったもので大学生生活満足度を得ているのだろうか。

図2-4-3 非加入者の加入意識と期待生活の実現
(χ^2 検定: $p=0.009$)

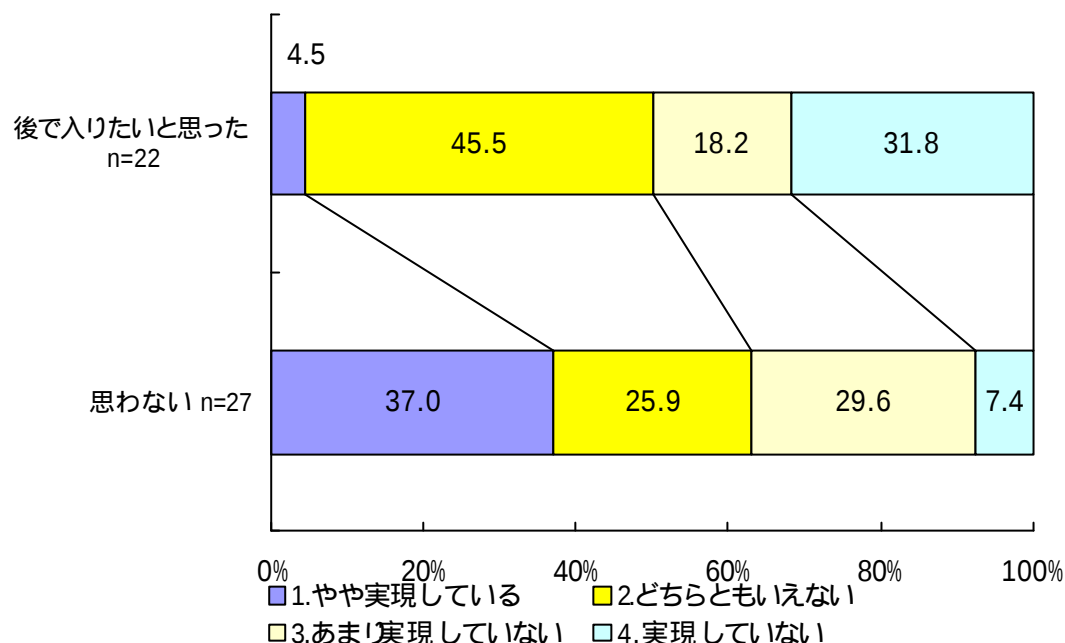


図2-4-3を見ると、後から部活・サークルに入りたいと思った人と思っていない人とは、「思い描いていた大学生活を送れているかどうか」の質問に対して大きな違いが現れている。後から入りたいと思った人は、思い描いていた大学生活を送れているとは思っていない、後から入りたいと思ったことがない人は、そこまで不満はないようだ。大学生活において満足にいていない人は、何か違う刺激が欲しくて後から部活・サークルに入りたいと思うのだろう。大学生活満足度においても後から入りたいと思った人は満足度が低く、思っていない人は満足度が高い。

2.5 アルバイトと交友関係

a.全体のアルバイト状況

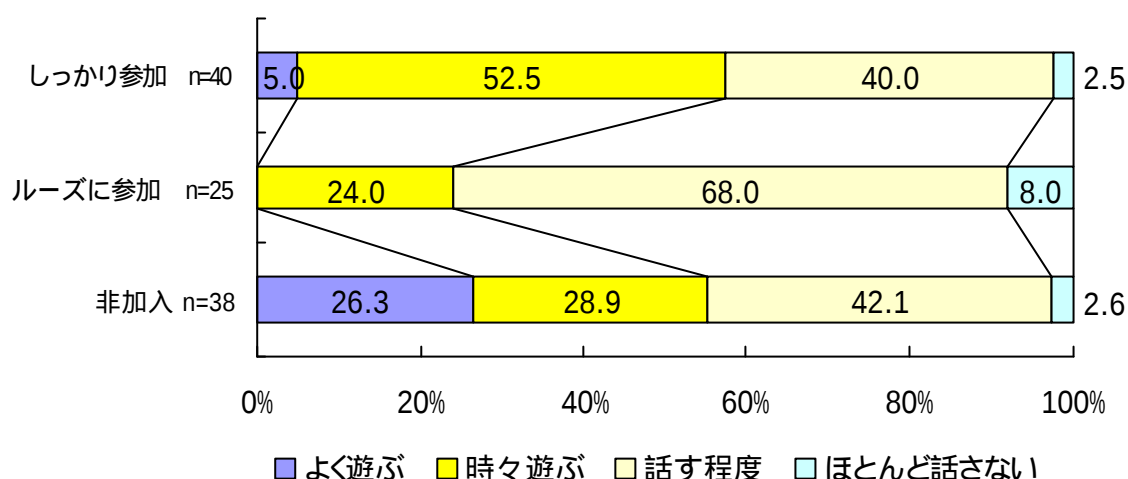
全体の学生のアルバイト状況を見える。アルバイトで月に6万円以上稼いでいる人を部活・サークルに加入している人と非加入の人とで分けると、加入者は約42%、非加入者は約40%であった。このことから、部活・サークルに加入しているか、いないかによってアルバイトの仕方が変わってくるわけではなかった。

アルバイトをしているか、していないかに関しては加入者で約18%、非加入者で約25%であった。部活・サークル活動をしている人はお金がかかるため、アルバイトに励む学生

が多いといえる。

アルバイト先の知人との関係ではサークルに非加入の人がアルバイト先の知人と仲良くなることが多く、図2-5-2でわかるようによく遊ぶと答えた人が約26%もいた。

図2-5-2 アルバイト先の知人との関係 (χ^2 乗 : $p=0.003$)

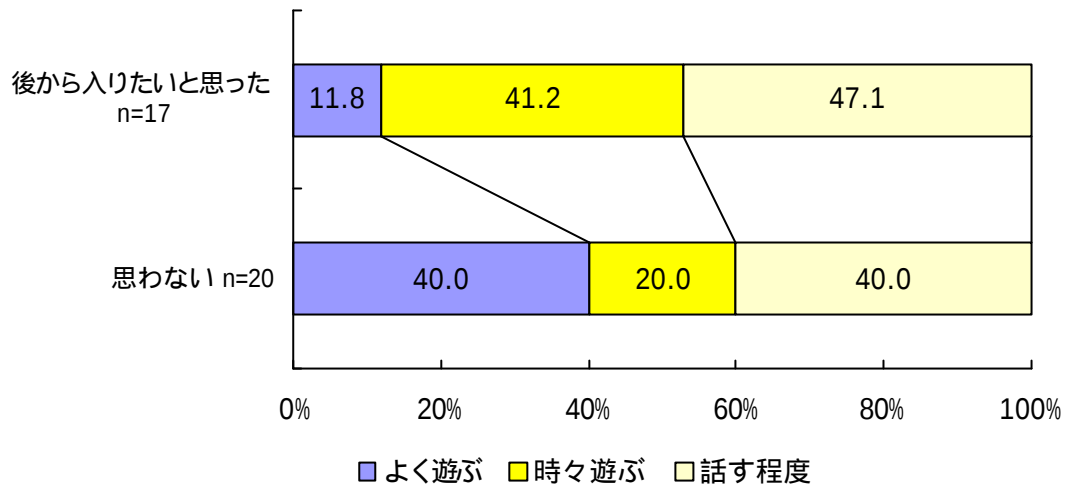


b. 非加入者のアルバイト先の知人との関係

下の図2-5-1からわかるように、後から入りたいと思ったことがない人はアルバイト先の人との関係において、仲が良いことがわかった。「部活・サークルに後から入りたいと思ったか」の質問と「アルバイト先の知人との関係」をクロス集計したところ、後から入りたいと思った人は、アルバイト先の知人とよく遊ぶと答えた人が約12%なのに対し、入りたいと思ったことがない人はよく遊ぶと答えた人が約38%もいた。このことからわかるように、アルバイト先の知人関係においても、大学生の生活満足度は大きく左右される。

全体の交友関係では今1番仲の良い友達は、加入者では「大学の友達(部活・サークルの人)」が1番多く約45%であった。非加入者では「高校の友達」が1番多く約28%であった。私生活で1番大切にしている時間は加入者で1番多かったのは「遊び」で約22%であるのに対し、非加入者は「趣味」で約40%であった。部活・サークルに加入していない人は、私生活の中で趣味を大切にしていることがわかった。

図2-5-1 非加入者の加入意識とアルバイト先の知人との関係
(χ^2 検定 : $p=0.122$)

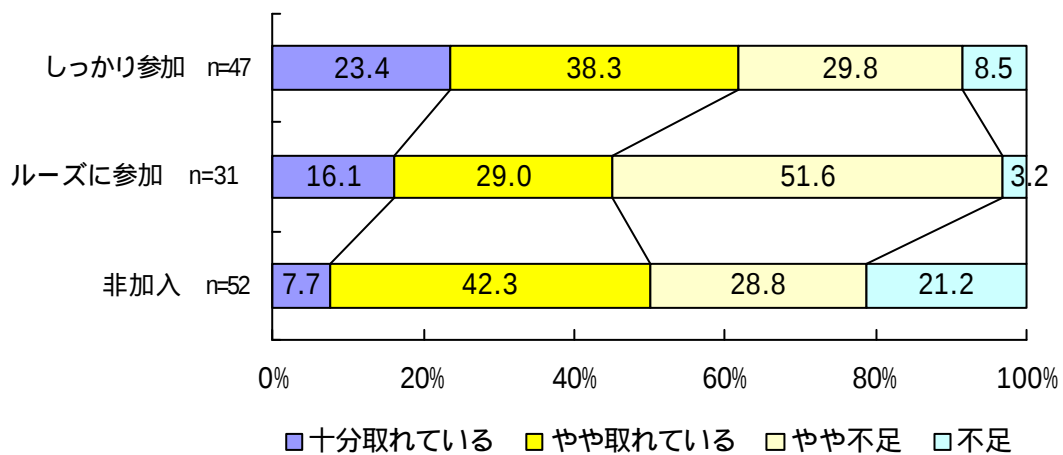


2.6 その他

a. 睡眠と大学生

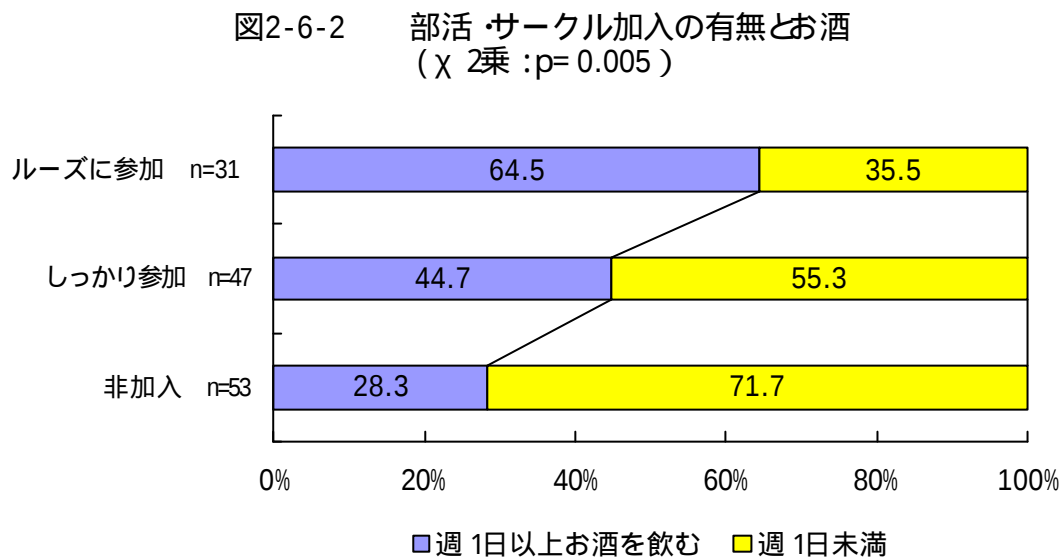
下の図2-6-1は睡眠についてである。十分に取れていると答えた人が「しっかり参加」で約23%、「ルーズに参加」で約16%に対し、非加入者は約8%しかいなかった。不足と答えた人では「しっかり参加」で約9%、「ルーズに参加」で約3%なのに対し、非加入者は約21%もいた。お酒など飲む機会が多い部活・サークル加入者の方が睡眠不足だと予想していたが、違う結果となった。では部活・サークル加入者・非加入者ではお酒の飲む量に違いは出るのだろうか。

図2-6-1 部活・サークル加入の有無と睡眠
(χ^2 検定 : $p=0.027$)



b. お酒と大学生

部活・サークルの加入、未加入によってお酒の飲む量は変わってくるかどうかを、週1回以上飲む人で見てみると加入者で約53%、非加入者で約28%であった。お酒を週に1日以上飲む人と週1日未満の人とを分けて、クロス集計した結果が図2-6-2である。この結果からも部活・サークルに加入している人の方がお酒を飲む機会が多いと言える。



第3章 まとめと今後の課題

大学生活の中で学ぶことはたくさんある。高校生まではまだ親の力を借りて生活をしてきた。大学生になると様々な自由があり、4年間をどう生活するかは自由である。20歳という節目の年を迎えることにより、遊びにおいても今までと違ったことを体験できる。いろいろな誘惑の中で、4年間を有意義にするのは容易なことではないだろう。

今回の調査から大学生の私生活で大きな影響を与えるのは、部活・サークルとアルバイトであることがわかった。6割ぐらいの人は部活・サークルに加入しておりその大半が部活・サークル活動にひたむきに取り組んでいる。部活・サークルに加入している人のほとんどが加入することにより大学生活がよりよいものになっていると答えている。また、部活・サークルに加入していない人は、アルバイト先の知人と仲良くなることで大学生活に満足を得ている。

部活・サークルへ加入することにより勉強がおろそかになるわけではなく、全体の学生が勉強への意識が低いことがわかった。「1番優先している時間は何ですか」の質問に対して1番多い回答が遊びであった。勉強が1番優先されると答えた学生は約7%しかいなかった。この結果からも勉強への意識が低いことが証明できる。その割に単位取得は容易傾向にある。大学自体も単位所得の方法に問題があるのではないだろうか。

アルバイトは大学生にとって重要である。部活・サークルに加入している人は活動費を稼ぐために必死に働いている人が多い。加入していない人の方がアルバイトをしていない割合が高く、必要最低限のお金があればいいと考えている人も少なくないようだ。

部活に入ることにより、1つのことを目標に向かって努力することは大切だ。また、サークルでは今まで教師の力を借りていたが、学生たちだけでイベントを計画し、まとめていかなければならない。その過程で学ぶことは社会人になった時、良い経験となるだろう。

部活・サークルに入っていない人も4年間の中で何かを見つけて生活すれば満足のいく大学生生活になる。

1番大切なことは大学生活で何に打ち込み生活を充実させるかである。そして、後悔せずに社会人になるための一歩を踏み出すことが重要なのではないだろうか。

今後の課題は3・4年生にしかアンケートを実施しなかったので、部活・サークルに加入して間もない学生の意見にも興味を湧いた。また、男女の割合が男子に固まってしまったので、女子の意見ももっと聞いてみたいと思った。一人暮らしか両親と同居しているかの質問を入れなかったのも、この質問からの違いが出るのか興味を湧いた。

私自身、大学生活をしてきた上で色々考えることは多かった。今回の調査を通じて少しでも他人の意見がわかったのでとても勉強になった。そして、今の大学生の良いところも見えたが欠点も見えてきたので、これからの大学生活に生かしていきたい。

<参考文献>

「大学生の常識」 鈴木雄雅 著

「大学とキャンパスライフ」 武内清 編

青山学院女子短期大学 学生生活調査報告書（１９９１年）

部活・サークル活動に関する調査

広報学科 ハッ橋ゼミ 榎本涼

卒論のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

問1 あなたは入学以後、部活・サークルに加入していますか。(1つに○) n=131

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 加入している 59.5% →問2へ |
| 2. かつては加入していたが今は入っていない 14.5% →問9へ |
| 3. 加入していない 26.0% →問9へ |

<加入している>と答えた人に伺います。

問2 どのような部活・サークルに加入していますか。(1つに○、複数加入の場合は、最も力を入れているものをお選びください。) n=78

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 運動系の部活 17.9% | 2. 文科系の部活 26.9% |
| 3. 学友会・蓉光会・聳塔祭実行委員会 1.3% | 4. 運動系のサークル 23.1% |
| 5. 文科系のサークル 11.5% | 6. その他のサークル 17.9% 無回答 1.3% |

問3 あなたは部活・サークルにいくつ加入していますか。(1つに○) n=78

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 部活とサークルに加入している 5.1% | 2. 1つの部活に加入している 37.2% |
| 3. 2つ以上の部活に加入している 2.6% | 4. 1つのサークルに加入している 52.6% |
| 5. 2つ以上のサークルに加入している 2.6% | |

問4 あなたは部活・サークル活動日に平均、週何日ぐらい参加していますか。(1つに○) n=78

- | | | | |
|----------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. 週5日以上 2.6% | 2. 週3～4日 17.9% | 3. 週2日 25.6% | 4. 週1日 37.2% |
| 5. 週1日未満 16.7% | | | |

問5 あなたは部活・サークルをどのように考えていますか。(1つに○) n=78

- | |
|---|
| 1. 活動にはしっかり参加し、部活・サークル活動が楽しくなるようにがんばっている 60.3% |
| 2. 面倒くさいと思ったりした時は参加せず、自分が行きたいと思った時に参加している 33.3% |
| 3. 大会、イベントなどの時は参加するが、それ以外ではあまり参加していない 5.1% |
| 4. その他 1.3% |

問6 部活・サークルに加入したことによって、欠点となっているところがありますか。(当てはまるものすべてに○) n=78

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1. 時間の余裕がなくなった 26.9% | 2. 授業への出席率が減った 17.9% |
| 3. アルバイトがあまりできない 10.3% | 4. 無駄な出費が増えた 38.5% |
| 5. 人間関係が面倒 19.2% | 6. 活動や人間関係は楽しいが飲み会が辛い 7.7% |
| 7. 飲み会や人間関係は楽しいが活動は自分にあっていない 1.3% | 8. 特になし 32.1% |

問7 部活・サークルで知り合った恋人がいる、または、いたことがありますか。(1つに○) n=78

1. はい 40.3%	2. いいえ 59.7%
-------------	--------------

問8 あなたは部活・サークルに参加したことにより、以下の質問にはどういった考えをお持ちですか。それぞれについて当てはまるもの1つに○をつけて下さい。 n=78

	そう 思う	やや そう 思う	どちら ともい えない	あまり そうは 思わない	そうは 思わない
a. 技術や技能の習得・向上のためになる	33.3%	17.9%	23.1%	14.1%	11.5%
b. 体力・知識を増やすことができる	23.1%	38.5%	17.9%	14.1%	6.4%
c. 就職に有利になる	15.4%	16.7%	28.2%	20.5%	19.2%
d. 部活・サークルでしか味わえないことを楽しめる 無回答 2.6%	65.4%	21.8%	9.0%	0.0%	1.3%
e. 部活・サークルに入ったことにより、大学生活が よりよいものになる	57.7%	30.8%	9.0%	1.3%	1.3%
f. 部活・サークルと勉強の両立はできている	24.4%	28.2%	32.1%	10.3%	5.1%

→ 問12へ

今、部活・サークルに入っていない人にお聞きします。

問9 あなたが部活・サークルに入らなかった主な理由、またはやめてしまった主な理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○) n=52

1. 通学に時間がかかり、時間的余裕がないから 22.6%	2. 勉強・習い事に忙しいから 17.0%
3. アルバイトで忙しいから 20.8%	4. 活動にお金がかかりすぎるから 22.6%
5. 適当な部活・サークルがないから 24.5%	6. 拘束されるのが嫌だから 22.6%
7. 人間関係がわずらわしいから 20.8%	8. 雰囲気がぴったりこないから 26.4%
9. 部活・サークルに興味がないから 15.1%	10. その他 20.8%

問10 部活・サークルに後から入りたいと思ったことはありますか。(1つに○) n=52

1. はい 44.2%	2. いいえ 55.8% → 問12へ
-------------	---------------------

問11 (「はい」と答えた人)はなぜそう思いましたか。(当てはまるものすべてに○) n=23

1. 暇な時間ができた 4.3%	2. 何か趣味が欲しくなった 8.7%
3. 生活がつまらないから 26.1%	4. 交友範囲を広げたくなった 52.2%
5. 部活・サークルが楽しそうだから 21.7%	6. 知人に誘われた 13.0%
7. その他 21.7%	

全員への質問です。

問 1 2 私生活で、1 番優先している時間は何ですか。(1 つに ○) n=131

- | | | |
|--------------------|----------------|-------------|
| 1 . 部活・サークル 10.7% | 2 . アルバイト 9.2% | 3 . 勉強 6.9% |
| 4 . 趣味 26.7% | 5 . 遊び 19.8% | |
| 6 . 彼氏彼女との時間 12.2% | 7 . その他 14.5% | |

問 1 3 現在の友達で、一番仲が良いのはどこで知り合った人ですか。(1 つに ○) n=131

- | | | |
|-----------------------------|----------------------|-------------------|
| 1 . 小学校 6.9% | 2 . 中学校 9.2% | 3 . 高校 22.1% |
| 4 . 大学 (部活・サークルの友達) 30.5% | 5 . 大学 (その他) 18.3% | 6 . アルバイトの仲間 4.6% |
| 7 . 習い事の仲間 0.0% | 8 . その他 8.4% | |

問 1 4 人によって生活の目標も色々ですが、次のように分けると、あなたの生活目標に一番近いものはどれですか。(1 つに ○) n=131

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 . その日その日を自由に楽しく過ごす 39.7% | 2 . しっかり計画を立てて、豊かな生活を築く 18.3% |
| 3 . 身近な人たちと、和やかな毎日を送る 38.2% | 4 . みんなと力を合わせて、世の中をよくする 3.8% |

問 1 5 最近、お酒はどのくらい飲みますか。(1 つに ○) n=131

- | | | |
|------------------|--------------------|----------------|
| 1 . 週 5 日以上 5.3% | 2 . 週 3 ~ 4 日 9.2% | 3 . 週 2 日 9.2% |
| 4 . 週 1 日 19.1% | 5 . 週 1 日未満 57.3% | |

問 1 6 睡眠は十分に取れていますか。(1 つに ○) n=131

- | | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|--------------|
| 1 . 十分取れている 15.3% | 2 . やや取れている 37.4% | 3 . やや不足 34.4% | 4 . 不足 12.2% |
| 無回答 0.8% | | | |

問 1 7 アルバイトでは月にいくぐらい稼いでいますか。(1 つに ○) n=131

- | | | |
|---------------------------------|----------------------|---------------------|
| 1 . 2 万未満 5.3% | 2 . 2 ~ 3 万未満 7.6% | 3 . 4 ~ 6 万未満 25.2% |
| 4 . 6 ~ 8 万未満 22.1% | 5 . 8 ~ 1 0 万未満 9.2% | 6 . 1 0 万以上 9.9% |
| 7 . アルバイトをしていない 20.6% → 問 1 9 へ | | |

問 1 8 アルバイト先の知人とはどういう関係ですか。(1 つに ○) n=104

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 . アルバイト以外でもよく遊ぶ 11.5% | 2 . アルバイト以外で時々遊ぶ 36.5% |
| 3 . アルバイト中に話す程度 47.1% | 4 . ほとんど話さない 3.8% |
| 無回答 1.0% | |

問 1 9 生活費を除いて、最も優先されるお金の使い道は何ですか。(1 つに ○) n=131

- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|--------------|
| 1 . 書籍・雑誌 6.9% | 2 . 服飾・化粧品 20.6% | 3 . ギャンブル 5.3% | 4 . 旅行 0.8% |
| 5 . 部活・サークル活動費 5.3% | 6 . 交際・娯楽費 25.2% | 7 . 趣味 28.2% | 8 . その他 6.9% |
| 無回答 0.8% | | | |

問 2 0 あなたは予習を含めて、普段どのくらい勉強していますか。(1 つに ○) n=131

1 . かなりしている 3.8%	2 . 予習・復習はしている 4.6%
3 . 課題・宿題のみしている 42.7%	4 . ほとんどしていない 47.3% 無回答 1.5%

問 2 1 単位は取れていますか。(1 つに ○) n=131

1 . 取れている 37.4%	2 . ほぼ取れている 40.5%
3 . あまり取れていない 16.0%	4 . 取れていない 6.1%

問 2 2 大学生活の中で、以下の質問での自分なりの考えをお聞かせください。 n=131

すべてに無回答が 3.8% がある。

	そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまり そうは 思わない	そうは 思わない
a. 趣味をより豊かにできている	31.3%	40.5%	20.6%	1.5%	2.3%
b. 暇な時間も楽しんでいる	29.0%	35.9%	20.6%	7.6%	3.1%
c. 交友関係を広げられる	32.1%	34.4%	19.1%	7.6%	3.1%
d. 社会人になるための礼儀・知識を得ることができる	16.0%	36.6%	26.0%	16.0%	1.5%
e. 大学での思い出は一生の財産だ	35.1%	35.1%	17.6%	6.1%	2.3%
f. 自分が思い描いていた大学生活を送れている	8.4%	22.1%	30.5%	21.4%	13.7%
g. 大学生活に満足している	16.0%	38.2%	24.4%	13.7%	3.8%

問 2 3 性別 n=131

1 . 男 70.2%	2 . 女 26.7%	無回答 3.1%
-------------	-------------	----------

問 2 4 学年 n=131

1 . 1 年 0.0%	2 . 2 年 0.0%	3 . 3 年 80.2%
4 . 4 年 16.8%	5 . その他 0.0%	無回答 3.1%

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。